

# 新しい学習指導要領がスタートすると、 次のように授業が変わります

## 英語教育が小学校では早期化・教科化し、中学校では高度化します



### 小学校

小学校での英語教育は、英語に慣れ親しみ、学習への意欲を高めるとともに、中学校での学習に無理なくつなげることがねらいです。

- 3・4年生で、「聞くこと」「話すこと」を通して英語に慣れ親しむ外国語活動（週1コマ程度）が始まります。
- 5・6年生では、現在の外国語活動が、「読むこと」「書くこと」を加えた英語科（週2コマ程度）になります。  
→ 英語科は国語や算数のように評価がされます。

### 中学校

小学校での英語教育を踏まえて、実際に英語でコミュニケーションできる能力を育成することがねらいです。

- 授業は英語で行うことを基本とします。
- 小学校における英語教育の早期化・教科化により、扱う単語数が増えます。  
1,200語 → 2,500語程度（小学校で扱う単語も含む）
- これまで高校で学習していた内容の一部が学習内容に変わります。（例：仮定法、現在完了進行形）

## 小・中学校で道徳が教科となります

### 小・中学校 共通

思いやりや規則の尊重などの授業のテーマを子どもたちが自分のこととして考え、友達との話し合いの中でさまざまな考えに触れることで道徳性を育みます。

- 道徳の時間が「特別の教科 道徳」として新たに位置付けられます。（週1コマ程度は変わりません）
- 道徳の教科書が導入されます。
- 通知表に文章での評価が追加されます。  
※評価は入試で使用することはありません。



自分の弱い心に打ち勝つにはどうすればよいかについて、考え・議論している生徒たち  
(桐生市立中央中学校)

### Q どんなことを評価するのですか？

**A** 授業のテーマについて「自分のこととして考えられたか」などを評価します。ここでの評価は、子どもの成長を認めて励ます「応援の言葉」です。子どもの道徳性を評価し、他の子どもと比べるわけではありません。

## プログラミング教育を小学校から導入し、中学校ではより充実させます



### 小学校

さまざまな教科の中でプログラミング体験の機会を増やすことで、自分たちの生活が情報技術によって支えられていることに気づき、論理的に考える力を身に付けます。

### 中学校

技術・家庭科で、簡単なプログラムの作成や、コンピューターの動きの科学的な理解など、実際のプログラミングの基礎を学び、情報活用能力を身に付ける機会をこれまで以上に充実させます。

## ◆新しい学習指導要領の今後のスケジュール

※ 移行期間とは、新学習指導要領の内容を少しずつ授業に取り入れ、部分的に実施していく期間です。

校種	年度	H30年(2018年)	H31年(2019年)	2020年	2021年
小学校	道徳の教科化	→			
	新学習指導要領への移行期間※	→		<b>新学習指導要領の全面实施</b> ・小学校3・4年生で外国語活動 ・小学校5・6年生で英語の教科化 ・プログラミング教育の導入 など	
中学校	移行期間※	→	<b>道徳の教科化</b> →		
	新学習指導要領への移行期間※	→		<b>新学習指導要領の全面实施</b> →	

◎新しい学習指導要領についてもっと詳しく知りたい方は、文部科学省のホームページをご覧ください →

